

## 平成30年度東町目標の評価

### ① 家族との信頼関係を深める。

■面会時、利用者の状態を家族に報告し、また家族から利用者の情報を収集しよりよいケアにつなげる。

- ・家族面会時は看護師へ連絡し状態報告などを行っている。
- ・積極的に御家族に声掛けをし、情報交換も出来ていると思う
- ・ベッドに休んでおられる時は離床して頂き、別室に案内したり、散歩していただくなど個人的には出来た。東町全体で出来るよう広めたい。
- ・主要行事の後に行われる家族会に参加される御家族もいつも少人数で限られた人になりがちである。家族の誘い方も積極性と工夫が必要と考える。

■少人数での外出を計画し、利用者に楽しんで頂く。また面会時などに静養室を活用し、岱山苑でもご家庭のような雰囲気の中で過ごして頂けるようにする。

- ・外出される利用者は決まっているが喜んでいただけたと思う。
- ・後半は外出等、出来なかった。事前に計画を立て出勤する職員の人数確保や他職種の方々に協力して頂き外出につなげるべきであった。

■東町新聞を継続し、これまで同様に苑での生活の様子を発信していく

- ・2ヶ月に一回の新聞は発行出来た。御家族の方々も喜んでおられ来年度も継続していきたい

### ② 他職種と連携を図りケアを統一

■利用者の状態に変化があった際には、他のスタッフにも相談し、必要に応じて他の職種との連携を図り、適切なケアに繋げる。

- ・利用者の変化に気付いた時は職員と話し看護師へ報告している。また、職員同士の連携も出来ていると思う。

■変更事項などがあった際はケア台帳に必ず記載する。また、ノートへの記載や口頭での伝達も行うことで、職員間での情報共有に努める。

- ・口頭やノートを使い伝達できた。
- ・休み明けで勤務に入る時はノートをチェックせずに変更事項に気付かない事があるので常にノートをチェックし業務を行うよう気をつけたい。また、変更がある時は教えていただきたい

③ 訓練に力を入れる。

■訓練指導員の下、平行棒を活用した訓練やその他機能訓練を実施することで、利用者の能力保持や発展を目指し、他の利用者に対しても参加意欲などを促し活気ある東町にする。

- ・もっと利用者の方たちに訓練をして頂きたかったが出来ていなかった。
- ・東町に平行棒を持ってきたが、介護職としては出来ていない。